

教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革



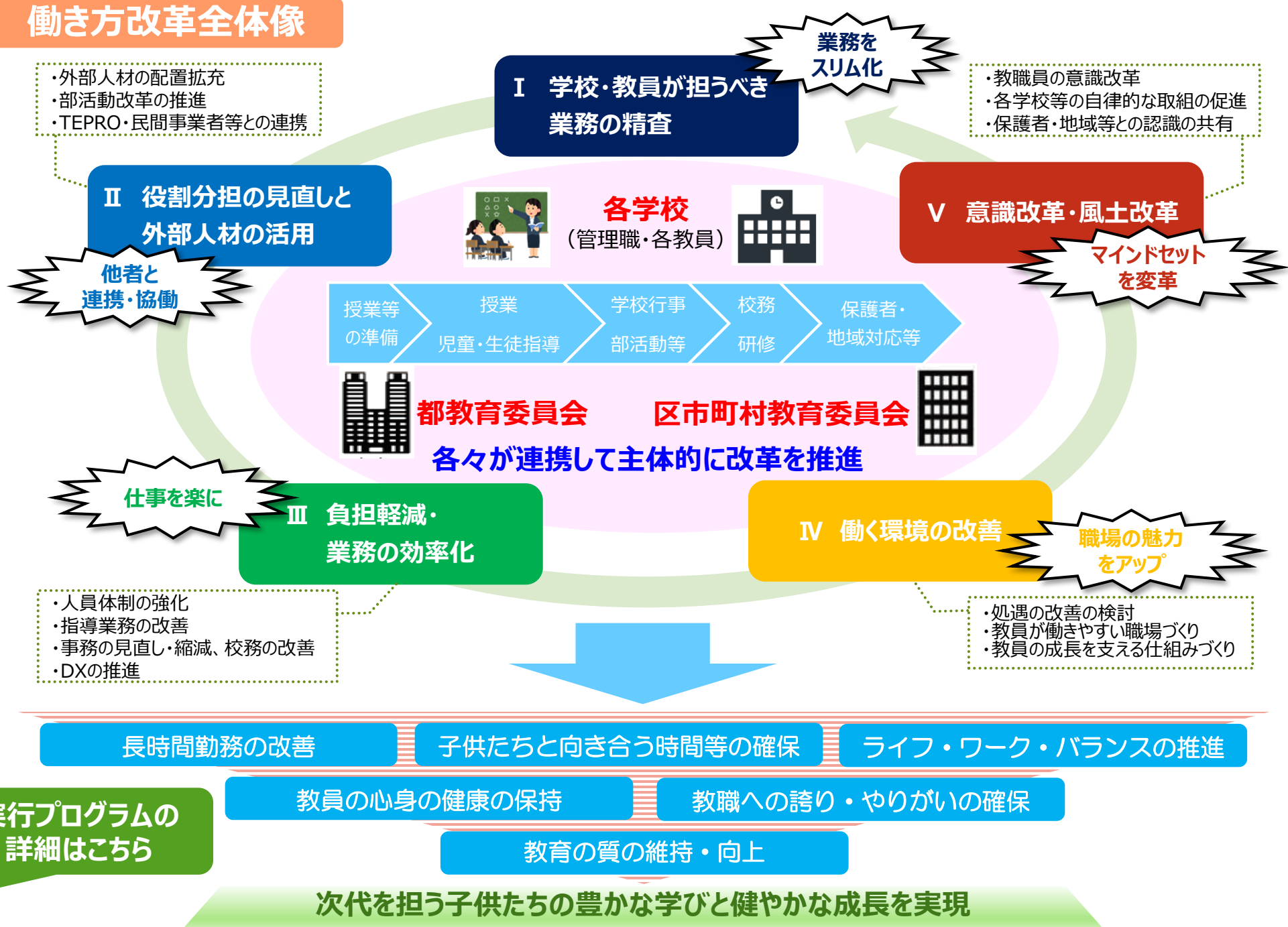
未来の東京を担う子供たちの成長を導くには、教育の質を高めることが重要です。

東京都教育委員会では、**教員が子供たちと向き合う**時間を十分に確保できるよう、

そして、**誇りとやりがい**をもって**生き生きと働く**ことができるよう、
「**働き方改革**」を進めています！



働き方改革全体像



実行プログラムの
詳細はこちら

教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

役割分担の見直しと外部人材の活用

・エデュケーション・アシスタントの配置 **小学校**

第1学年から第3学年を対象に、副担任相当の業務を担うスタッフを配置し、児童対応などで教員をサポート

活用事例

- 学習・生活指導の補助（学習・給食等の指導補助、教材準備など）
- 子供からの相談対応や登下校時の見守り
- 学年・学級経営の補助（連絡文書作成補助・提出物集約など）
- その他（学校行事の運営補助など）



担任と共に児童を支援



登下校の見守り

担任からの声

複数の目で子供たちを見ることで、学習が充実し、担任の安心感にもつながる

保護者からの声

まだ、低学年なので、新しい生活に慣れるために、担任だけでなくアシスタントの先生がいると心強い

教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

役割分担の見直しと外部人材の活用

・ スクール・サポート・スタッフの配置 小・中学校

学習プリントの印刷や掲示物の張替え等、
教員の授業準備等をサポートするスタッフ
を配置し、教員の負担を軽減



現場はこう変わった！

- ・ 教材研究や授業準備に充てる時間が増えた！
- ・ 教材や授業の質を向上させることができた！
- ・ 児童・生徒に向き合う時間を増やすことができた！
- ・ 退勤時間が早くなり、残業時間を減らせた！



教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

役割分担の見直しと外部人材の活用

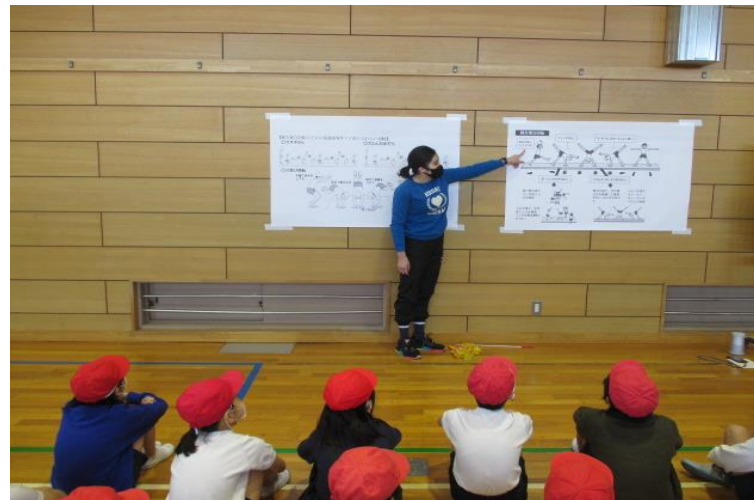
● 社会の力活用事業 **小学校**

教員の負担を軽減するとともに児童の学びの充実を図るため、外国語活動や体育の授業等において専門性の高い外部人材が授業を実施

活用事例

- 客室乗務員や通訳などの外部人材による外国語活動の授業
- 元オリンピック選手やスポーツの全国大会で活躍した外部人材による体育の授業

体育の授業で活躍する外部人材



教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

役割分担の見直しと外部人材の活用

● 部活動改革（R5～R7改革推進期間） **中学校**

令和7年度末までに都内全ての公立中学校等で地域や学校の実態に応じて、地域連携・地域移行の取組を実施



詳しくはこちら



教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

役割分担の見直しと外部人材の活用

・ 部活動指導員の配置 **中学校・高校・特支**

部活動の負担を軽減するために、専門的な技術を持つ指導者を部活動指導員として配置する制度。実技指導、大会・合宿等の引率、指導計画作成など、様々な面の業務を担当し、教員の負担を軽減します。

現場はこう変わった！

- ・ 知識・経験のない分野だったので、精神的負担が軽減された！
- ・ 専門の指導員から学べるため、生徒の成績・技能向上につながった！



教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

役割分担の見直しと外部人材の活用

- （公財）東京都教育支援機構との連携

〔略称：TEPRO（ティープロ）〕

TEPROは、東京都教育委員会が令和元年7月に設立した、都内公立学校を多角的に支援する団体です。

学校を支援する多様な事業を通じて、教職員の働き方改革と教育の質の向上を推進しています。

「TEPROは先生を応援します！

～学校を多角的に支援するTEPROの取組～」
ブースにてTEPROの事業内容等の詳細を
ご紹介します。
ぜひお越しください。



TEPROのホーム
ページはこちら



教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

負担軽減・業務の効率化

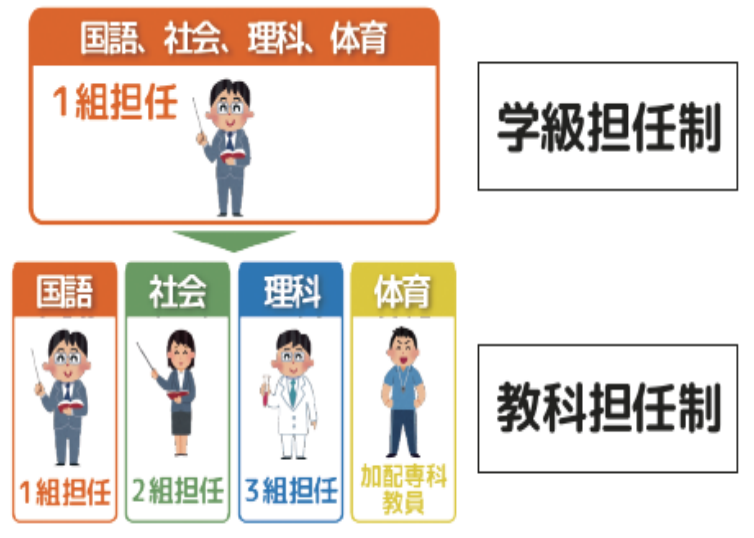
教科担任制の推進 小学校

一人の教員が多くの授業を担当する学級担任制から各教員が教科を分担して授業を行う教科担任制の仕組みへ転換することで、専門性の高い教科指導や複数の教員による多面的・多角的な児童理解、教員の負担軽減を推進しています。

教科担任制のメリット

- ・ 同じ授業を複数回実施することなどによる「授業の質の向上」
- ・ 学級での課題などを学年全体で取り組む「組織的な対応」
- ・ 授業準備等の負担軽減による「働き方改革の推進」

教科担任制のイメージ（一例）



教科担任制に対する現場の先生からの声はこちら



教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

負担軽減・業務の効率化

・DXの推進

○統合型校務支援システム

児童生徒の学籍情報・出欠・成績・保健情報の一元管理、指導要録・調査書・時間割作成など

○定期考査採点・分析システム

定期考査や小テストの採点業務の効率化、採点結果の集計分析など

○保護者コミュニケーションシステム

保護者からの児童・生徒の欠席連絡や保護者への便り配信を電子化

現場はこう変わった！（統合型校務支援システム）

- ・事務作業の時間が削減され、教材研究の時間が確保できた！
- ・成績や指導要録データが蓄積されるので、細やかな指導が可能になった！

【都立学校に導入したシステム例】

「TOKYOスマート・スクール・プロジェクト」ブースもぜひご覧ください。

教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

負担軽減・業務の効率化

・コンサルタントを活用した業務改革

小・中学校、高校、特支

対象校の課題に合わせて改善策を検討し、学校で実践する仕組みを構築するため、外部のコンサルタントを活用した改革に取り組んでいます。

業務改革の流れ

1

実態把握・課題特定

2

改善策の検討・提示

3

改善策の実施支援・評価

改善策の例

- ・ 特別支援学校における教材作成
- ・ 定時退勤デーの設定
- ・ 電話対応時間の見直し
- ・ 会議の上限時間設定
- ・ 書類手続きの電子化

教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

働く環境の改善

新規採用教員メンター 小・中学校、高校、特支

同じ学校の同世代の先輩職員等がメンターとなり、日常的な声かけや様々な相談を通じて新規採用教員をサポートします。

新規採用教員の気持ちや悩みを理解し、寄り添える方がメンターになるので、仕事をする中で迷うことや不安に思うことを気軽に相談できます。

教職員のためのコミュニケーションガイドブック 小・中学校、高校、特支

若手教員5,280人のアンケートと専門家の知見を基に、職場内でのコミュニケーションの手引きを作成し、全教職員へ提供しています。

ガイドブックの詳細はこちらもご覧ください。



教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

働く環境の改善

・教職員アウトリーチ型相談事業

小・中学校、高校、特支

臨床心理士等が、都内公立学校を訪問し、教職員と面談を行うアウトリーチ型相談事業を実施しています。

面談では、仕事のことやプライベートのことなど、何でも相談することができます。

・教員相談窓口

小・中学校、高校、特支

(先生たちのほっとLINE)

SNS (LINE)を活用した相談窓口を開設し、教職員が職場の人間関係や日頃の業務上の悩み等の多様な悩みについて、相談員に気軽に相談することができます。

先生たちのほっとLINE 友達登録をお願いします

東京都教育委員会では、LINEによる相談窓口を開設しています。心理士等があなたの悩みに寄り添います。

開設期間	令和7年4月 1日(火) から 令和8年3月31日(火) まで
受付時間	月曜日から土曜日までの午後3時から午後9時まで ※相談時間の目安は30～60分です 終了時刻間際のご相談は翌日以降の回答になる場合があります
相談内容	職場の人間関係や日頃の業務上の悩み

匿名で気軽に相談できる

東京都教育委員会

職場のこと

- 先輩がとても忙しそうで相談しづらいな
- 上司と意見が合わないがどうしよう
- 他の先生が仕事をしているなか早く帰りづらい

仕事のこと

- 頑張って取り組んだことなので評価してほしい
- 初めての保護者会に向けて緊張している
- 今日の仕事はあまり上手くいかなかった

このような日ごろの悩みや不安をご相談ください！
相談内容に応じて、他の適切な相談窓口をご案内する場合があります。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革 働く環境の改善

・職員室の環境改善

高校、特支

教職員同士のコミュニケーションの円滑化や校務運営の効率化を図るため、机などの更新を図りつつ、職員室のレイアウトや同線を工夫するなど、機能性が高く働きやすい職場整備を進めています。

【都立三鷹中等教育学校の例】



教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

働く環境の改善

・ 職員室の環境改善

高校、特支

【都立三鷹中等教育学校の例】



教員が輝く学校へ、未来をつくる働き方改革

意識改革・風土改革

・働き方改革推進ポータルの開設

働き方改革推進ポータルで、都内公立学校の働き方改革の取組を紹介しています。

東京都教育委員会
Tokyo Metropolitan Board of Education

働き方改革推進ポータル



[トップ](#) [学校の働き方改革について](#) [学校の時間外勤務状況](#) [働き方改革事例集](#) [保護者・地域の皆様へ](#)

[トップ](#) > [働き方改革事例集](#) > 都内公立学校及び教育委員会の取組事例

都内公立学校及び教育委員会の取組事例

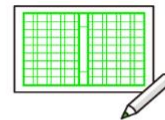


職員室環境改善【東京都】

東京都教育委員会では、コトヨ株式会社と共同で令和6年度に都立学校3校について、職員室の「未来型オフィス」への移行を実施しました。

2025年7月1日

[詳しく知る](#)



土曜授業日の見直し【練馬区】

練馬区の学校では、これまで年間で8回、第二十曜日に実施していた土曜授業を、令和6年度から年間4回に変更します。

2025年7月1日

[詳しく知る](#)



通知表の担任所見の削減【立川市】

立川市では、通知表の担任所見欄について、在り方の見直しを行い、1学期又は1・2学期の担任所見欄を無くしました。

2025年7月1日

[詳しく知る](#)



コンクール等の応募業務の負担軽減【足立区】

足立区では、区主催のポスターコンクール等の応募を学校を介さない形にしました。

2025年7月1日

[詳しく知る](#)

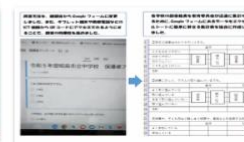


小学校における授業交換（一部教科担任制）・学年担任制【調布市】

調布市では、学年の担任間で担当教科を決め、授業交換を行い、担当教科については学年の全クラスを指導する形としています。

2025年7月1日

[詳しく知る](#)



学校評価アンケートの電子化【昭島市】

児童・生徒及び保護者への学校評価アンケートの実施方法を紙媒体からICT機器による回答方法に変更しました。

2025年7月1日

[詳しく知る](#)

働き方改革推進ポータル
はこちら！

